



# テクノロジーで拓くアグリの未来 ～最先端自動化植物工場事業のご紹介～

2026年 3月  
株式会社A-Plus

会社名	株式会社 A - P l u s
代表取締役	沼上 透
本社所在地	福島県田村市都路町岩井沢字平蔵内32番1号
資本金	10,000,000円
設立日	2017年 11月 6日
事業内容	植物工場の運営と生産物の販売 植物工場に関するコンサルティング 植物工場関連機器の販売 農産物の生産と販売 農業関連データの解析 エネルギー関連事業



工業と農業の融合を目指す！

A - P l u s

- ①Agriculture(農業)
- ②Automation(自動化)
- ③AI(人工知能)
- ④Advance(前進)
- ⑤Achievement (達成)

# 農業を取り巻く環境と課題

## ～世界が直面している課題～



## ～国内での食料の需給変化と消費者ニーズの多様化～

農業の  
担い手不足

安定調達  
安定価格志向

中食需要の  
増加

衛生管理の  
厳格化  
(※SNSの普及)

**食料の安全性と安定的な確保が大きな課題に！**

## アグリの未来を創造する！

日本の優れた工業技術を活用し、省人化を図りながら  
天候に左右されずに食糧を安定的且つ安全に  
大量生産のできるシステムを構築

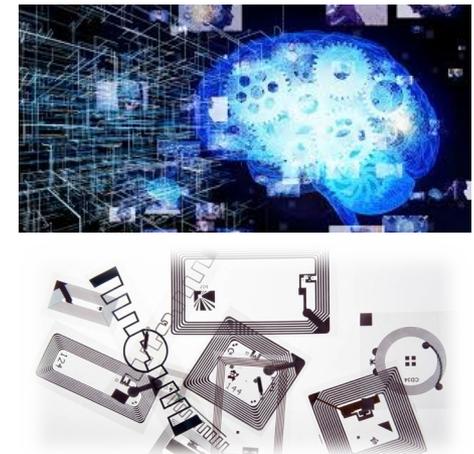
完全閉鎖型植物工場



自動化機器の大幅な採用



AIやITの活用



# Farm&Factory TAMURA工場概要

2020年12月  
操業開始



「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」  
第3次公募採択

## ◇工場規模

敷地面積：9,092㎡

建築面積：4,410㎡

延床面積：5,212㎡



## ◇生產品目と生産規模

生產品目：レタス類（フリル/ロメイン）、カットレタス

生産CAPA：約12,000株/日（約1.2t/日）※365日収穫ケース

## ◇従業員数

34名（※2025年4月1日時点。時間パート含む）



## 世界初の自動搬送システムによる省人化

現状、週5日間での収穫運用により、  
約16,000株/日を超える株の収穫・  
梱包・出荷作業を約20名/日の作業  
人員で対応

# 自動化による省人化と徹底した衛生管理

【従来型植物工場】



栽培室内での手作業



- ◆ 手作業多 (⇒作業工数大、汚染リスク大)
- ◆ こぼれた液肥が株や栽培室内の床を汚染  
⇒病原菌やカビ、虫の発生原因に

【当社植物工場】



自動搬送 (モノレール型)

栽培室内の無人化



移植/定植ロボット



収穫ロボット

## 栽培室内は無人！（14台のモノレールが自動搬送）

【YouTube動画】

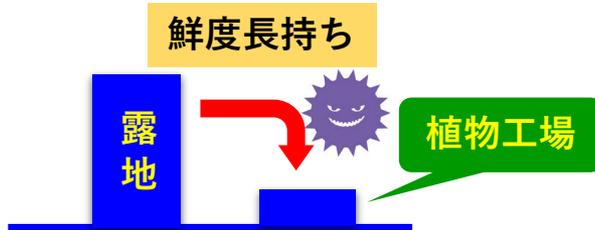


<https://www.youtube.com/watch?v=0HMEfXlqkAk>



# 当社完全閉鎖型植物工場の優位性

低生菌数



いつまでもシャキシャキ、サンドイッチ、手巻き寿司等の加工品の賞味期限を延ばされます。



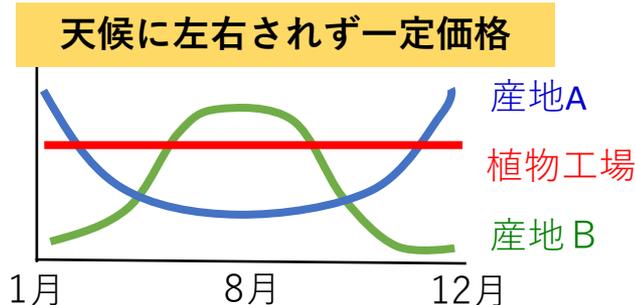
安心・安全



無農薬栽培のため、お客様に安心・安全な野菜をお届けできます。



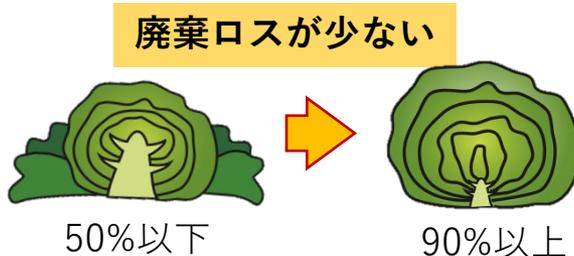
安定供給



加工品、デリカ、中食・外食等への安定供給に寄与します。



高歩留



捨てる部分が少ないため、廃棄ロスを低減できます。

# 生産中の商品と販売先例

(業務用5kgバルク)



(業務用250g入りカット)



(業務用個包装)

フリルレタス



ロメインレタス



## コンビニ商品



## ホテル・リゾート施設 飲食店等



## スーパー ベーカリー等



# 中長期ビジネスモデル

葉菜類(レタス)については安定的に大量生産のできる  
最新鋭の自動化された植物工場を運営・確立済み

レタス



イチゴ

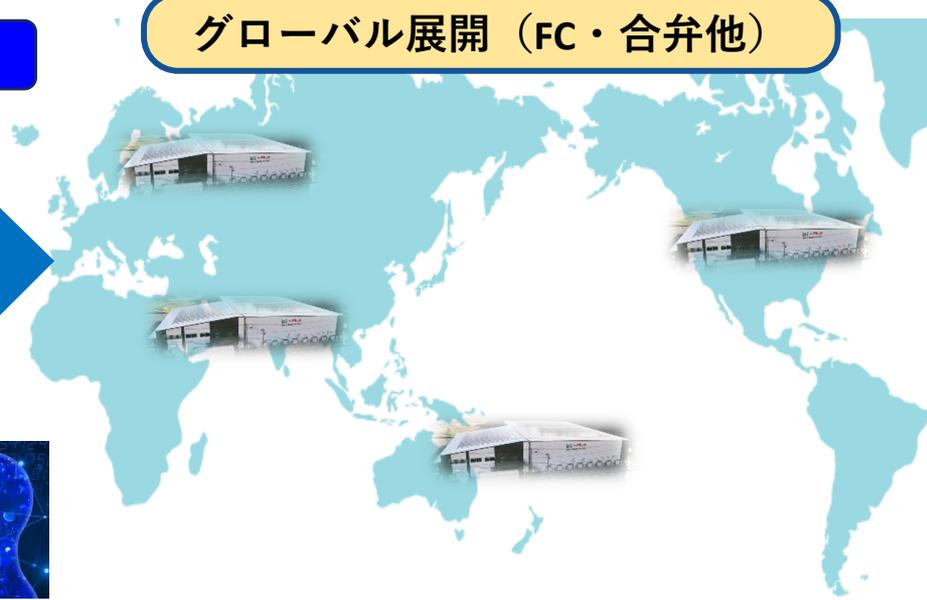


関連事業を横展開

- 1.生産物販売
- 2.コンサル
- 3.機器販売
- 4.副資材販売
- 5.データ解析



グローバル展開 (FC・合併他)



【慣行農業への展開】

ロボット

データ  
解析



【医薬・化粧品への応用】

医薬・化粧品用  
植物生産・販売



**当社は、日本の最先端植物工場を新たな農業形態として確立し、輸出も可能な成長産業として大きく発展させることで、被災地の復興と経済発展を力強く推進してまいります。**